

講義名	児童生徒等のための教材・教具とその活用法	講座担当者	田所希衣子(外国人の子ども・サポートの会)
単位数	6	講義形式	講義、ワークショップ
実施日時	2019年8月30日(土) 10:30~16:10	実施会場	福島市中央学習センター ZOOM による同時受講及び録画による受講も可
講座の目標及び特に目指す受講者の知識・技能・態度			
<p>講座の目標</p> <p>子どもの言語学習の枠組みとして支援の必要度を表す6段階のステージと5つのプログラムの考え方を理解する。また、教材の特性を分析し、子どもの学習進度に応じて選択し組み合わせる力をつける。</p> <p>特に目指す受講者の知識・技能・態度</p> <p>知識 ③ 子どもの言語学習支援の方法や、教科等の学習と日本語指導を関連付けることの重要性について理解している。</p> <p>技能 ② 子どもの生活や学習場面に関連づけて、教材・教具を選んだり作成したりして、指導することができる。</p> <p>態度 ① 子どもたちが、将来どのように社会の一員として生活するのかをイメージして、日本語学習支援の内容や方法を考えて実践しようとする。</p> <p>※①③は、本研修で設定した養成を目指す「資質・能力」の番号である。「自己評価シート」参照</p>			
講座内容			
<p>1 日本語指導のコースデザイン(サバイバル日本語、初期指導、中期指導、教科との統合学習)</p> <p>(1)コースデザインのための基礎知識</p> <p>(2)5つのプログラムと教材・教具</p> <p>(3)コースデザインを考えるための準備</p> <p>2 生徒の情報からコースデザインを考える(ワークショップ)</p> <p>3 児童生徒等の将来と進路指導</p>			
成績評価方法			
<p>講義への出席後または録画による講義の視聴後、課題を提出する。</p> <p>他の講義と併せて、80%の出席と課題の達成度60%で修了証を授与する。</p> <p>[課題]</p> <p>東京都教育委員会作成の「たのしいがっこう」の教材研究。</p> <p>各課の学習目標、使われている語彙・表現を一覧表にする。</p>			
参考書			
<p>○外国人児童生徒受入れの手引【改訂版】</p> <p>文部科学省、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課</p>			